

令和3年度 共同生活援助カモミール事業報告

I 重点目標

1、1人1人に応じた支援を見直し実行する

[取組内容]

過去の排泄のデータを分析し、トイレ誘導が必要な利用者に対して時間帯を決め定期的なトイレ誘導を実施した

浣腸による排便コントロール（看護師対応）

定期的な運動（散歩・フライングディスク・キャッチボール・体操等）の実施

配膳や洗濯物など自分でできることは自分で行う

[結果]

1日2、3回の失禁が見られていたが、定期誘導することでまったくない日もある。

週2回排便コントロールすることで、衣類などへの便汚染がなくなった

運動不足及び肥満解消につながっている

職員と一緒に取り組むことで、洗濯物の干し方や、掃除、食事の配膳準備などできることが増えた。また、習慣化することで積極的に取り組む姿が見られだした。

II 実績

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
男性		1 (1)	2 (2)	3 (3)	1 (2)	1
女性			1 (1)	(1)	2 (1)	1 (1)

平均利用者数 11.76人 (11.84人)

60代5名、50代1名、40代4名、30代2名

() 内は前年度実績

III サービス内容

入浴支援 口腔ケア 排泄支援 健康管理 服薬支援 感染症対策 食事支援

防災対策（夜間での避難訓練の実施）

・余暇支援

新型コロナウイルス感染防止のため、外部での活動を控え、施設内での活動を充実させた。
(バーベキュー大会・ドライブ・ケーキパーティー・調理レク・デリバリー料理・クリスマスディナー)